

大崎上島町 社協だより

No. 227

2022(令和4)年3月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



続くコロナ禍 社協の新たな挑戦!



県内社協

初

完全オンライン de

※この写真は一部加工しております。

赤い羽根ボランティアスクール

2月9日から全3回の日程で「赤い羽根ボランティアスクール」を開講し、14名の方が受講されました。

町内の新型コロナウイルス感染症患者の発生に伴い、安心して受講していただくために、今回はオンライン会議アプリ「Zoom」を使い、障がい児の「多様性」について講義とパネルディスカッションを実施し、受講生は自宅からパソコン等を活用して参加されました。



パネルディスカッションの様子

第1回は賀茂精神医療センターの元山淳様に、第2回は清光寺住職でわかばの会 会長の松浦真英様にそれぞれ講義を行っていただき、第3回はパネルディスカッションを行い、当事者のご家族、行政、社協それぞれの立場での「願い」についてご発言いただきました。

町内の障がい児支援について「知る・触れる・考える」大変貴重な機会となり、受講された方々にはこれから地域の理解者であり、サポーターとしても活躍していただけることを期待します。

本事業に関する経費は、皆様からの社協会費と広島県共同募金会からの特別助成金を使用しております



サロン de つながる

瀬戸内イキイキプロジェクト



2021年度 活動報告の様子

令和4年2月24日、広島国際大学瀬戸内イキイキプロジェクトの活動報告会にオンラインで参加しました。

2021年の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での交流会はあまり開催できない状況で、オンラインでの交流会など、新しい交流の形を模索する一年となりました。

その後、来年度以降の活動について、参加者同士でグループワークを行いました。コロナ禍でも交流を続けられるように、様々な形でのつながりづくりを社協職員として、サポートしていくとともに、新型コロナウイルスが収束して、サロンと学生たちの交流が気軽にできる日がまた来ることを心待ちにしています。



集まった皆さんで集合写真



プロジェクトソング「わらって生きよう」
鳥の方と学生と一緒に歌って踊れるように作成された瀬戸内イキイキプロジェクトのプロジェクトソングです♪



山尻サロン オンライン交流会の様子

3月は「命の宝箱」を確認する月です！

命の宝箱(救急医療情報キット)の中身を確認する時期が参りました。この機会に冷蔵庫から出して記載内容の確認・修正をしましょう！
書きたいけど用紙がない、容器がないなど、ご不明な点等ございましたら、社協本所へご連絡下さい。

社会福祉協議会本所 ☎62-1718 (担当：地域福祉係)





普段の生活から“つながる”を考える心がけを

令和4年3月7日付の中国新聞に興味深い記事が載っていました。

「日本老年学的評価研究」で全国39市町村で約14万人の高齢者を調査した結果、都市中心部から遠いところに住む人ほど高齢者うつ病のリスクが低いそうです。

その要因は次の3つです。

ポイント



1. 周囲への信頼感 2. 地域への愛着 3. 困ったときに助け合う関係

この3つが高齢者のうつ病予防に効果があると考察されていて、特に男性高齢者に顕著であったそうです。

そんな地域で生活できれば、子どもや子育て中の方から高齢者まで誰もが安心して暮らすことができますね。そんな地域を目指して、今日からこんなことを心がけてみませんか？



今日から始めよう！ ↓ 地域と家族と「つながる活動」

① 普段からご近所づきあいを大切にしておきましょ！

周りが空き家ばかりになり、気づけば「我が家だけ」という状況もあります。つながり続けるために、自分から地域に出向き色々な活動に「参加」しましょう！これからの季節、特に野外での活動は心身共に健康につながりますね！

② 自分から「ちょっと困っている」「ちょっと手伝って」を発信しましょう！

なかなか自分から言い出しにくいですが、困りごとが小さいうちなら解決方法も見つけやすく、手助けも「ちょっと」で済みます。

個人的な発信が難しければ、どうぞ地域包括支援センターへご相談ください。

とにかく「ちょっと」のうちに、「早め」に地域とつながりましょう！



③ 同居していない家族との連絡を工夫してみましょう！

電話の時に「昨日ね〇〇さんと話しが弾んでね～、普段からよくお世話をしてくれとるんよ。」「あの店の日替わり定食美味しくてね～、食事を作るのが面倒な時はあの店に行くんよ。」など、普段の会話の中で、“誰にお世話になっているか(交友関係)”“家にいなかったときに、どこを探せばいいのか(行動範囲)”など、何気ない会話が「有事の備え」になります。

また、家族の帰省時には普段お世話になっている友人やお店へ一緒に挨拶できる関係づくりができれば素敵ですね。さらには、自分の身体や病気のことを家族に伝えておくことも大切です。



これら3つの行動は、本人だけでなく、まわりからも心がけたいことなので、ぜひ今日から「つながる活動」をみんなで実践していきましょう！

《相談窓口・問い合わせ》大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9 (木江保健福祉センター内)

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和4年2月11日～令和4年3月11日 お申し出分】

【香典返し】

- ・大串 松崎 好信 様 (故母 テル子様)
- ・中野 河下 護 様 (故母 キクエ様)
- ・東野 松浦 一志 様 (故父 巖 様)
- ・明石 中土井昭司 様 (故母 サヨ子様)
- ・東野 末光 珠美 様 (故母 美代子様)

【生前のお礼】

- ・明石 古本 ヤスエ様 (故夫 求 様)
- ・木江 水井 一彦 様 (故母 マサ子様)
- ・木江 柏田 早苗 様 (故夫 訓幸 様)
- ・木江 谷本 禎章 様 (故母 ユリ子様)
- ・沖浦 上利 ヒトミ様 (故夫 政文 様)
- ・中野 村上 勝正 様 (故母 豊子 様)
- ・名古屋 廣澤 義雄 様 (故母 マツエ様)
- ・匿名 (1名様)

【一般寄付】

- ・木江 柏田 早苗 様 (福祉用具借用のお礼)
- ・匿名 (2名様)



三つの密を避けよう！



ワクチン打ってもマスクは着用



介護者家族会

～4月定例会のご案内～
日時：4月15日(金)
13:30～15:00
場所：大崎老人福祉センター
1階「すまいるーむ」
対象者：在宅で介護されている方
もしくは、介護されていた方
※予定変更の可能性あり

認知症の人と家族の会

～4月定例会のご案内～
日時：4月22日(金)
9:30～11:30
場所：オレンジハウス
対象者：認知症状がある方
在宅で介護されている方
※予定変更の可能性あり

くらしの相談会

次年度は令和4年5月より、生活困窮に関すること、介護保険制度の利用に関するご相談等をお受けいたします。
ご家族や支援者からの相談もお受けできますので、ぜひご利用ください。



家に帰ったらうがい・手洗い！



出かけるときはマスク着用



生活福祉資金特例貸付制度（緊急小口資金・総合支援資金）の 受付期間延長について

社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で一時的な生活資金にお困りの方に向けた緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を実施しています。

○緊急小口資金

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

○総合支援資金

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯（その他一定の条件あり）

※特例貸付の受付期間は令和4年6月末まで延長されました。

問い合わせ先 社協本所 ☎62-1718（担当：塩飽）

「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。